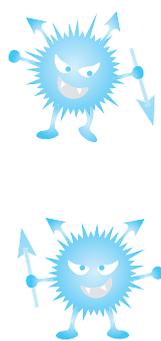


コロナ禍の中で

# 皆さんの避難場所は

## ・・・どこ？

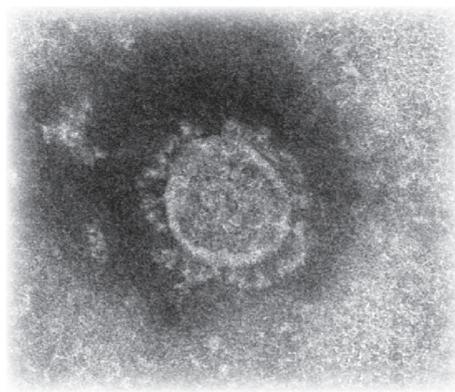
### 防災対策特別委員会



地球温暖化により、毎年大規模災害が発生しています。災害時には、一番近い指定避難所が全ての災害において真っ先に向かうべき場所であるとはほとんどの方が理解されていると思いません。しかし、災害発生時に向かすべき避難場所は、自分たちに及ぼす災害の種類や度合い、自宅の立地条件や家族構成等によって異なります。例えば、新しい建物であっても、土砂災害を回避するためには適していない建物もあります。「災害時には、災害の種別ごとに避難場所を平素より考えておくことが必要」です。

今年には新型コロナウイルス感染症のことも考えてとりあえず避難所への考え方をもう一歩進めて、急ぎながらも、順序よく

確実に命を守る避難行動となるよう、家族や自主防災組織内などで話し合い、自分たちにあつた避難方法を決めておきましょう。



新型コロナウイルス感染症リスクのある今、

あらためて災害時の「避難」を考えましょう

避難所に行くことになったら何に気をつける？



避難所に行くもの

- 「マスク」
- 「アルコール消毒液」
- 「体温計」

マスクを持っていない場合は、タオルや手ぬぐいなども代わりに使えます。アルコール消毒液がない場合、ウエットティッシュも使えます。できれば自分で用意しておきましょう。

避難所に入る前に体調チェックを

- 感染拡大を未然に防ぐために一番大切なこと。
- 「避難所に入る前の体調チェック」

避難所に入ったら

大事なのは「密閉・密集・密接」の3つの密を避けることです。

- 「出来るだけ換気を心がける」
- 「他人と2メートルほど距離をとる」

「密接した状態での会話は避ける」  
人と向かい合わせではなく背を向けて座るようにしたり、段ボールなどで間仕切りを作ったりすると効果があります。せきやくしゃみなどによる飛沫感染の防止にもなります。

「手洗いや消毒の徹底」

食事の前や、トイレに行つた後などは必ず手洗いやアルコール消毒をするようにしましょう。ドアや手すりなど、多くの人が触るものに触れた後は、手洗いや消毒を徹底するようになしてください。